

個別目標5	2	土地利用	都市計画マスタープラン改定	○	平成23年度に実施済。
			農業振興地域整備計画の見直し	○	平成21年度及び平成26年度に実施済。
			優良企業誘致件数	×	3件の目標に対し、2件の実績であった。次の計画においては中小企業の振興に重点を置く観点から、創業者数を指標とする。
		道路・公共交通	都市計画道路整備率	○	目標を達成した。今後においても計画的に事業を実施していくことから、次の計画においては指標として設定しない。
			住環境	事前協議に関する指導基準の見直し	○
公共施設のバリアフリー化率	×	目標は未達成であったが、限られた財源のもとで今後も計画的に事業を実施していくことから、次の計画においては指標として設定しない。			
上・下水道	公共下水道整備率	○	目標は達成した。今後においても、既存施設の更新も含めた普及拡大を行っていくが、財源が課題となる。		

行政経営の基本目標		達成状況評価	総評及び今後の対応等		
<b>◆基本目標1 みんなで創るまち</b>					
個別目標1	1	協働のまちづくり	町民の意見の反映状況	×	第4次総合計画の中間見直しの際に実施のアンケート調査による検証結果であるが、毎年度検証を行うことができないため、次の計画においては指標として設定しない。
			住民活動団体登録者数	×	目標は未達成であったが、平成27年7月開設の住民活動支援センターに業務委託を行い、現在は登録数を着実に伸ばしている。
	2	情報の共有	ホームページの閲覧件数	○	目標を大きく達成した。引き続き効果的な情報発信に努める。
			パブリックコメントの実施件数	○	目標を達成した。指標として不適切であるため、次の計画においては指標として設定しない。
	地域情報化	電子入札件数	○	目標を達成し、入札参加者が安定して確保できる仕組みができたことから、次の計画においては指標として設定しない。	
		行政運営	総合計画の目標指標達成率	×	最終年度の平成29年度末において、42.62%にとどまった。適正な指標を設定の上、次の計画においては達成率100%に向けて取り組んでいく。
	委託等実施率		×	直営で実施することで、委託に比べて経費の節減が可能となるものもあったことから、個々で最善策を選択している。	
	3	財政運営	経常収支比率	×	少子高齢化がいつそう進む中、社会保障関連の経費が増加していることから、財政面における固定経費の抑制が困難な状況になっている。
			自主財源比率	×	町税の増収が見込めない現在において、安定的な財源の確保に向けたよりいっそうの創意工夫が求められる。
	職員の意識改革	職場外研修受講者数	○	目標を達成した。単に受講することを目的とするのではなく、受講後の職務活用度を意識した取り組みが求められる。	
人事評価システム		○	目標を達成した。すでに導入し、評価結果を職員の昇給などに反映させる取り組みを行っている。		

まちづくりの基本目標		達成状況評価	総評及び今後の対応等		
<b>◆基本目標4 のどかな緑のまち</b>					
個別目標4	1	環境保全	環境学習会等参加人数	○	大きく目標を達成し、事業への参加者が安定して確保できる仕組みができたことから、次の計画においては指標として設定しない。
			アダプトプログラム参加団体	○	目標は達成したが、現在もなお金融機関、事業所、地区などで新たな取り組みを始めているところもあるため、次の計画では指標を見直し、引き続き取り組む。
	循環型社会	紙類の資源回収量	×	民間の無人資源回収ボックスが随所に設置されたことにより、資源回収量が減少した。	
		リサイクル率	×	紙類の回収量が減少したことにより、結果的にリサイクル率も伸びなかった。	
		合併処理浄化槽設置数	×	下水道の普及との兼ね合いがある中でもそれなりの伸びを見せていることから、次の計画においても引き続き目標指標として設定する。	
2	公園緑地・景観	一人当たりの公園面積	×	児童遊園の面積については横ばいであるが、都市公園の面積は計画的に整備を行っており、微増している。今後も、限られた財源の中で計画的に取り組む。	
<b>◆基本目標5 のんびり暮らせるまち</b>					
個別目標5	1	消防・防災	自主防災組織数	×	目標は未達成であったが、各地区における自主防災組織はおおむね設立されたことで、次の計画においては地域防災リーダー養成講座の受講者数を指標とする。
			木造住宅耐震改修実施棟数	×	毎年度申請はあるものの、目標達成までには至らなかった。国・県の補助制度もある旨を周知した上、引き続き効果的なPRを実施していく。
			消防水利充足率	○	目標を達成したため、次の計画では指標として設定しない。
			建物火災削減率	○	指標の定義がわかりにくく、前年対比による検証を行うことで毎年の結果が変動することから、次の計画では指標として設定しない。
			普通救命講習会等の受講者数	×	消防署にて実施する事業であるため、次の計画では指標として設定しない。
		交通安全・防犯	雨水貯留浸透施設貯留量	○	目標を達成した。今後においても計画的に事業を実施していくことから、次の計画においては指標として設定しない。
			地区防犯パトロール隊の数	○	目標を達成した。次の計画においては、地域防災リーダー養成講座の受講者数を指標とする。
			交通人身事故の削減率	○	指標の定義がわかりにくく、前年対比による検証を行うことで毎年の結果が変動することから、次の計画では指標として設定しない。
			街頭犯罪発生の削減率	○	指標の定義がわかりにくく、前年対比による検証を行うことで毎年の結果が変動することから、次の計画では指標として設定しない。
			街路灯設置数	○	目標を達成した。今後においても計画的に事業を実施していくことから、次の計画においては指標として設定しない。

平成30年度からは、新たに策定した「第5次扶桑町総合計画」に基づき、5年後と10年後に達成を目指す数値目標を「めざそう値」として取り組んでいます。くわしくは、ホームページをご覧ください。